

研究開発課題名	委託先機関名	研究開発代表者	
		役職	氏名
<b>【中核的組織】研究推進支援組織</b>			
脳科学研究の統合的推進と国際対応に関する事業開発	自然科学研究機構	所長	鍋倉 淳一
<b>【研究グループ1】ライフステージ（発達期・成人期・高齢期）に応じた健常から疾患に至る脳画像等の総合的解析研究</b>			
<b>1-1. MRI脳画像の撮像や臨床データ等の取得と、その解析による精神・神経疾患の発症メカニズム解明等</b>			
縦断的MRIデータに基づく成人期気分障害と関連疾患の神経回路の解明	広島大学	教授	岡本 泰昌
国際MRI研究連携によるAYA世代脳発達および障害のメカニズム解明	東京大学	教授	笠井 清登
人工知能を用いたてんかん治療の最適化に関する研究開発	大阪大学	教授	貴島 晴彦
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	国立精神・神経医療研究センター	室長	関口 敦
注意欠如多動性障害の薬物療法の神経基盤の解明	東京医科歯科大学	教授	高橋 英彦
MAO-B阻害薬rasagilineによるパーキンソン病治療効果と神経回路変化についての研究	順天堂大学	教授	服部 信孝
先進的MRI技術に基づく総合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明	京都大学	教授	花川 隆
気分障害における寛解と回復に関連した神経回路基盤の解明に資する縦断MRI研究	慶應義塾大学	教授	三村 将
<b>1-2. MRI脳画像データ等プラットフォーム</b>			
人生ステージに沿った健常および精神・神経疾患の統合MRIデータベースの構築にもとづく国際脳科学連携	東京大学	教授	笠井 清登
<b>【研究グループ2】ヒト脳と非ヒト霊長類脳の種間比較研究</b>			
高磁場MRIを用いたマウセット・マカク・ヒトの種間比較に関する研究開発	自然科学研究機構	教授	定藤 規弘
マルチモーダル神経画像・高精度標準化解析による種間比較霊長類脳コネクトーム解明研究	理化学研究所	チームリーダー	林 拓也
マルチスケール脳回路機能解析プラットフォームの構築 ～回路操作と機械学習を活用した種間双方向アプローチ～	量子科学技術研究開発機構	主幹研究員	平林 敏行
<b>【研究グループ3】人工知能（AI）研究との連携によるニューロフィードバック等の技術開発とその応用等</b>			
<b>3-1. AI技術を活用したニューロフィードバック等の治療法の開発研究</b>			
脳科学とAI技術に基づく精神神経疾患の診断と治療技術開発とその応用	国際電気通信基礎技術研究所	脳情報通信総合研究所長	川人 光男
<b>3-2. 次世代AI調査と基盤技術開発</b>			
非線形動力学に基づく次世代AIと基盤技術に関する研究開発	東京大学	特別教授	合原 一幸